

『FIVE SEASONS ガーデン・オブ・ピート・アウドルフ』

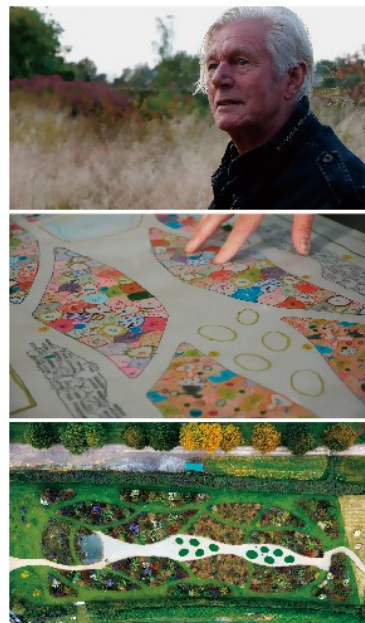
ガーデンデザインの最先端をゆく“植物の魔術師”

ピート・アウドルフのドキュメンタリー

ニューヨークにある高架線路跡の公園「ハイレイン」の植栽デザインを手掛け、世界のガーデン&ランドスケープデザイン界に激震を起こしたガーデンデザイナー、ピート・アウドルフ。彼は植栽に雑草を取り入れたり、枯れた植物にも美しさを見出すなど“美”の常識を覆し、また革新的なアイデアによって庭園や公共スペースの可能性を広げてきた。

本作では秋から始まる5つの季節を巡り、イギリス・サマーセットにあるギャラリー「ハウザー&ワース」、オランダ・フメロの自庭などアウドルフが手掛けたガーデンの数々を映し出しながら、彼の“美”や“環境問題”に対する考察、その唯一無二の創造過程を明らかにしていく。枯れゆくもの、思いがけないもの…新しい「美しさ」の発見に魅了されるドキュメンタリー。

監督：トーマス・パイパー／出演：ピート・アウドルフ、カシアン・シュミット、ノエル・キングスベリー、ハンス・ウルリッヒ・オブリスト
2017年/75分/アメリカ/配給：イコロの森



© Five Seasons Media LLC, 2019

10/5(日) 金沢市役所第二本庁舎 2F

① 10:30-11:45 ② 12:30-13:45

③ 14:00-15:15

入場料 500円(高校生以下無料)

Gardens in Kanazawa

兼六園(兼六町)

成翼閣庭園(兼六町)

西田家庭園 玉泉園(小将町)

金沢市立中村記念美術館庭園(本多町)

辻家庭園(寺町)

玉泉院丸庭園(丸の内)

尾山神社庭園(尾山町)

武家屋敷跡 野村家(長町)

千田家庭園(長町)

寺島蔵人邸(大手町)

2025/10/5 sun 10:00-16:00



さらさらと
せせらぐ川と用水

どうぶつたちが
棲み憩い

ガーデン、公園
街路樹や
植木鉢の緑

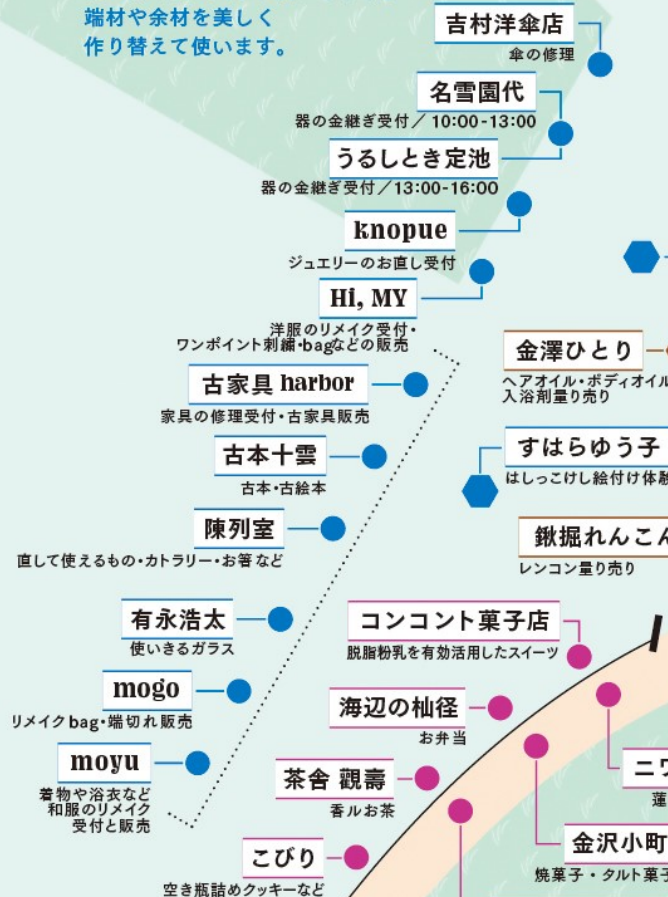
それが金沢の
まちなみ

金沢市役所第二本庁舎

KANAZAWA SDGs 2025

修理 & 創造的お直し REPAIR & CREATIVE REUSE

丹精して作られたものを直してだじに使い続けます。
思い出の品が生まれ変わります。
端材や余材を美しく
作り替えて使います。



ゴミを減らす REDUSE

マイカップ、マイタッパーを習慣づけます。
容器を考え直します。ゴミを減らす工夫をします。

会場 MAP

金沢市役所第二本庁舎

量り売り Selling by weight

無駄に買いすぎずに要る分だけ買います。
容器も繰り返し使います。嬉しくて楽しい。



庭や緑、水辺と生き物 Gardens & Biodiversity

庭などの緑、用水や川などの水辺、生き物、そして自然とつながる金澤町家。
わたしたちのじまんのまち。

シネモンドの

出張映画館



© Five Seasons Media LLC, 2019

FIVE SEASONS

ガーデン・オブ・ピート・アウドルフ

① 10:30-11:45

② 12:30-13:45

③ 14:00-15:15

入場料 500円 (高校生以下無料)

→詳細は裏表紙へ

IMAGINE KANAZAWA 2030

パートナーズ

- ・株式会社ユーアート
(不要な印刷用紙で作るメモ帳)
- ・大和リース株式会社金沢支店
(SDGsへの取り組み事例紹介)
- ・Take a step
(子どもの自己決定能力を育む
包括的性教育を金沢に)
- ・ウフフドーナチュ
(型くずれドーナツなどの販売)
- ・清水建設株式会社
(SDGs・グリーンインフラに関する展示など)

金沢市都市計画課

- ・コウハチロウ工房
(木製品展示)

金沢市文化財保護課

- ・金沢の庭園文化の動画公開

金沢市歴史都市推進課

- ・金澤町家や用水のパネル展示

Kanazawa as Role Model City for Urban Nature Ecosystem Restoration

金沢市は2023年10月、国連の「都市生態系再生モデル都市」に全国で唯一認定されました。これを受け、金沢の庭園文化や都市自然の保全、生態系回復に向けた取り組みを積極的に発信しています。それに合わせて、今年は、恒例のマーケットに加えて、庭や緑、水辺や生き物などをテーマにツアーやワークショップをおこないます。ずっとなくなってほしくない、わたしたちの町が誇る庭と緑、水辺、生き物。あらためて知り、だいに守り、みんなで育み、自慢してまいりましょう。

都市生態系再生モデル都市とは

金沢市での生物多様性や景観の保全、木の文化都市における独自の取り組みや、生物文化多様性の研究などをおこなっている国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット(UNU-IAS OUIK)の活動などが高く評価され、国連環境計画(UNEP)により認定されました。

「庭園めぐり」ツアー

10/5(日) 10:30-12:00 / 13:30-16:00 頃

- ▲ ガイド:金沢市文化財保護課 定員:10名ほど 要予約
- 参加費:1000円(書籍『金沢の庭園がつながる人と自然』付き)
- ▲ 集合場所:2F 2202会議室

2025年より一般公開されている長町武家屋敷跡の「千田家庭園」→ふだんは公開されていない長町の「西氏庭園」(いずれも大野庄用水を引き込んでいる)→加賀藩主前田家別邸の金谷御殿跡地でもある「尾山神社庭園」



「まちなかの生き物」ツアー

10/5(日) 12:00-13:30 頃

- ▲ ガイド:ファン・パストール・イヴァールス(UNU-IAS OUIK)
- 定員:10名ほど 要予約
- 参加費:500円(書籍『金沢の庭園がつながる人と自然』付き)
- ▲ 集合場所:2F 2202会議室

可能な方はiNaturalistというアプリを活用しながら、尾山神社の庭園に棲む、さまざまな生き物を観察し、学びます。会場2階には、金沢市日本庭園の生物多様性に関するパネルを展示しています。

ファン・パストール・イヴァールス

国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット研究員。スペインのデニアから2009年来日。建築設計博士(日本庭園)を取得。建築設計学・アーバンイズム・景観生態学の観点から、「都市に自然を戻す」をテーマに調査研究している。



ご予約方法

9/22(月) 10:00 ~
専用予約フォームからお願いします。
先着順。返信をもって受付完了。

IMAGINE KANAZAWA 2030 推進会議
☎ 076-220-2031 平日9:00-17:45/土日祝休
<https://kanazawa-sdgs.jp/2025/09/04/kanazawa-sdgs-2025/>



「里見町の町家と緑」ツアー

10/5(日) 10:30-12:30 頃

- ▲ ガイド:橋本浩司(橋本建築造園設計) 定員:10名 要予約
- 参加費:1000円(町家ブレンド紅茶のお土産付)
- ▲ 集合場所:金澤町家研究会テント

タメチストリートに潜む樹齢500年の「多田家の五葉松」→町家をお庭に残して改装して洋服や器の店としてオープンさせた「taine」→畑や庭を備えた改修町家「K邸」→江戸末期の建物を改修した「金澤町家情報館」と巡ります。

橋本浩司(はしもとこうじ)

1970年生まれ。一級建築士。歴史的建造物修復士。京都芸芸繊維大学工学部卒業。フィンランドのヘルシンキ工科大学留学、イタリアでの改修設計活動を経て、2008年橋本建築造園設計設立。現在、金沢美大や金沢職人大学校でも教える。



元は盆栽だったという
樹齢500年の五葉松

「見える川・見えない川」ツアー

10/5(日) 13:30-15:30 頃

- ▲ ガイド:高橋元貴(金沢工大准教授)+下坂裕美(建築士)
- 定員:10名 要予約 ● 参加費:1000円(町家ブレンド紅茶のお土産付)
- ▲ 集合場所:金澤町家情報館

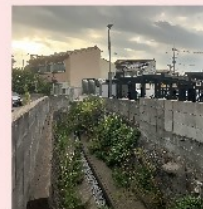
勘太郎川と穀月用水。そして失われた犀川の川筋。見える／見えない流れをたどりながら、堅町・幸町・菊川周辺エリアの町並みや建物群を、その基層から読み解き、歩きます。

高橋元貴(たかはしげんき)

1986年生まれ。金沢工業大学建築学部建築デザイン学科准教授。専門は都市史。都市および建築の歴史を、フィールドワークや絵地図史料、古文書の読解を通して研究。

下坂裕美(しもさかゆみ)

一級建築士。建築デザイン事務所川川代表。大学院で都市史を学び、沼地や島嶼について研究。清水建設設計部に勤めたのち、金沢に拠点を移し、町家改修などに携わる。



「関守石作り」ワークショップ

10/5(日) 10:15-12:00 頃

- ▲ 講師:中田祐貴(兼六造園)
- 定員:10名 要予約 ● 参加費:1000円
- ▲ 集合場所:金澤町家研究会テント

石に棕櫚の縄を縛って、結界となる関守石を作ります。結界はもちろん、オブジェにしても。※石の持込も可能ですが大きさによっては使えない可能性もございます。

中田祐貴(なかつたゆうき)

1980年金沢市生まれ。庭師・樹木匠。(有)兼六造園代表取締役。金沢工業大学建築学科・金沢職人大学校(造園、修復専攻科)卒業。ランドスケープ設計を経て家業を継ぎ、作庭や維持管理・樹木治療にも携わる。



ご予約方法

9/22(月) 10:00 ~

専用予約フォームからお願いします。先着順。返信をもって受付完了。(※ウェブ予約が困難な場合はお電話ください)

金澤町家研究会事務局

☎ 076-254-0647 平日9:30-17:30/土日祝休
<https://kanazawa-machiya.net/mj/now/>



ぐるりネイチャー散歩と絵本の会

「身近なネイチャーに目を向けよう！」

10/5(日) 13:30-15:30頃

- ▲ ガイド&絵本朗読：原田幸子(アナウンサー)
- ▲ 定員：10名ほど 要予約
- 参加費：500円(高校生以下無料/会場で使える絵本チケット付)
- ▲ 集合場所：ワークショップテント

可能な方はBIOMEという図鑑アプリを活用しながら、会場周辺を散策して自然観察をします。戻ってみんなで発見をシェアした後、自然がテーマの絵本を、楽しみましょう。子どもから大人までどなたでもどうぞ。

原田幸子(はらだゆきこ)

1973年生まれ。アナウンサー。早稲田大学人間科学部卒業後、福島テレビアナウンサーを経てフリーに。絵本専門士の資格も持つ。別名ネイチャー原田。昆虫好きの父や植物好きの母とともに、自然観察やBIOMEを楽しんでいる。石も好き。



ご予約方法

詳細は
P.04をご覧ください



ネイチャー原田の いきもの観察日記

「ニホンヒメグモ 観察日記」

夏の間、自宅の庭にいたニホンヒメグモを観察しました。

- クモの巣に卵のうを発見
- 卵のうを隠れ家の木の葉の下に移動
- たくさんの子グモが孵化!
- 母さん狩りに成功! 隠れ家から見守る子グモ達
- 隠れ家の天井に、獲物を吊り下げているのを発見
- 侵入者クロマルイソウグモに襲われたのか? 母さんグモは動かなくなりました……
- 突然の侵入者に逃げ惑う子グモたち
- 1ミリにも満たないちびグモちゃんが、小さな巣を張って逞しく生きている姿に感動



「ノトマイマイ」も観察対象のひとつ。
能登への思いを込めてBIOMEにも投稿しています。
体に大きな穴が空いているのが見えます。呼吸する穴が全開!
観察を続けていると、こんなものも見られます。



まちなかのいきもの



用水の底石に鮎の食み跡

用水の流れの底にある苔むした石。時々見ることのできる苔に入った細い線は、鮎が苔を食べた跡です。

用水にある魚鰾場

用水を泳ぐ魚が休息できるように、部分的に水深を深くした四角い凹みがあります。火災時には防火用ピットに。



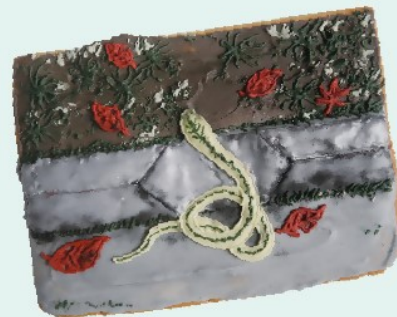
金沢駅で 鷹匠がトリ退治

糞害に悩まされていた金沢駅では、定期的に鷹匠がタカを飛ばすことで、ハトを鼓門に寄せ付けないようにしています。



鞍月用水のホタル

江戸時代に作られた石積み用水は、石のすき間に草が生えて隠れ家になるなど、生き物にとって住みやすい環境を作ります。1987年より毎年、こどもを中心とした市民らがホタル生息調査をして、ホタルマップを制作しています。



金沢城公園の 蛇専用スロープ

金沢城公園には、準絶滅危惧種でもあるタカチホヘビの幼蛇が上れるように、段差がななめに削られています。



ひがし茶屋街のツバメ

傘やブルーシートなどで糞害を防ぎながら、ツバメをだいにしています。7月頃には浅野川の上を高速で低空飛行する姿も見られます。1972年から毎年、石川県の公立小学生の6年生がツバメの生育調査「ふるさとのツバメ総調査」をしています。ツバメの巣のある家にはツバメのお宿シールが配られます。



小橋のたもと シラサギの眠る木

浅野川にかかる小橋のたもと、1本の木に多くのシラサギが眠ります。夜に見るとまるで白い花が咲く木のようなです。

アイシングクッキー制作:HUG mitten WORKS

わたしの庭



植物を育てるのが上手な人のことを「緑の手(指)を持つ人」と呼びますが、良い庭の持ち主とお話すると、それは才能というよりも深い愛情なのだと気づかれます。庭がなくとも、植木鉢や苔鉢などの小さな緑を生活の友にするのはどうでしょう。今日から気軽に始められます。

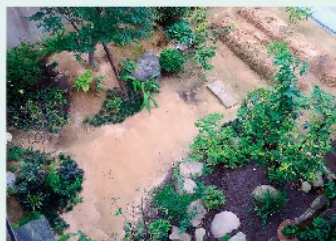
HISOCAさんの庭

あれこれと試行錯誤しながら大好きな里山を再現した庭

山歩きが好きなHISOCAさんは、築150年の町家を。里山を自分の家にも再現したいと、地道な苔庭づくりを続けて来られました。はじめに、ヤマモミジやシラカシ、サンシュユを植え、その後は気になる苗を植えたり、苔を貼ったり、石垣を作ったり、試行錯誤を繰り返して変化しつづけている庭です。爬虫類や両生類、昆虫やネコなどさまざまな生き物にも出会えます。



改修前
10年以上空き家だったので、
庭も荒れていた。



2015年8月。庭の骨格は庭師さんにお願いし、
その後、ホームセンターで気になる苗を買って
きては植えてみることを繰り返した。



2016年10月。大谷石を取り寄せて敷石にし、
周りにハイゴケを貼った。その後、石が滑りやすくなり
身の危険を感じ、2020年に大谷石は撤去した。



2025年8月。大谷石のかわりに伊勢砂利を敷いてある。境界に竹の垣根を設け、
隣家のブロック塀を湯涌の石で囲った石垣と杉皮貼りで覆った。



ルーペで苔観察してみませんか？

まちなかにもあちこちに苔があります。ベンチの脚、室外機の下、
花壇の縁など、ルーペをのぞいてみると、めくるめく苔の小宇宙が広がります。

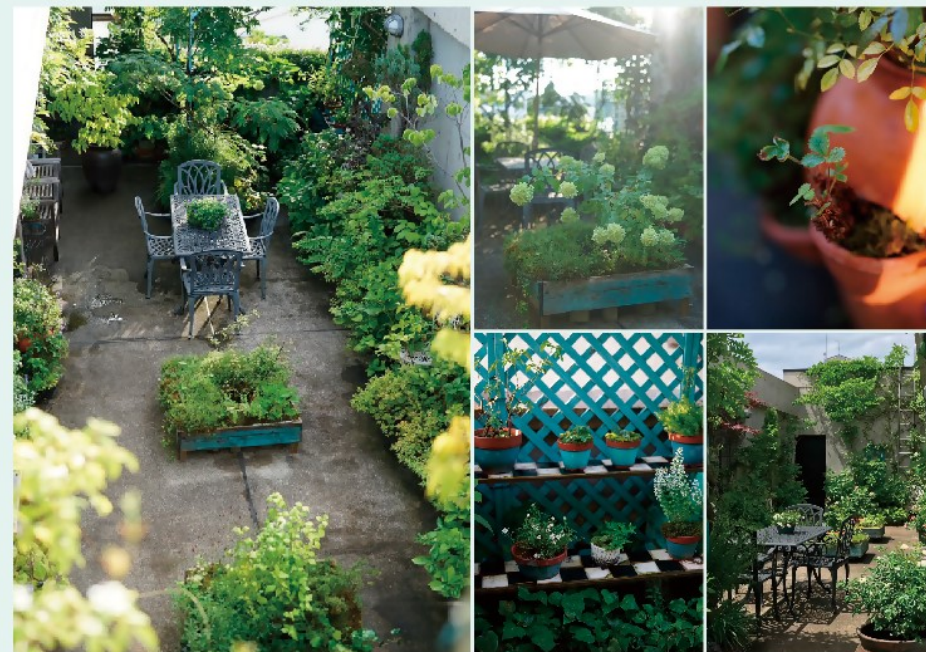


庭を作った人：HISOCA (@hisoca.to)

多田けい子さんの庭

30年かけて愛情たっぷりに作り上げた鉢植えだけの庭

ビル3階にあるバルコニーを、30年かけて愛情をこめて丹精された庭は、実はすべて植木鉢で構成されています。「約30年前、小学生だった息子が読んでいた『学研の科学』の付録のワイルドストロベリー、友人の庭から分けてもらった植物、鳥が運んだ種」。DIYも厭わない。ターコイズのペンキを自ら塗って取り付けたいリス(格子フェンス)と同じ色の植木鉢、新婚時代のマンションで使っていた白と黒のタイルを敷いたプランター台。細部にまでエピソードが詰まったいっせつな庭だ。鉢もいつのまにか苔むして、30年の間に、鉢植えとは思えない生態系が生まれた。「ひとつひとつに自分の思い出が繋がっている自分だけの庭です」。



庭の花を生ける ふだん花を買うことはなく、ほとんどが庭から。ぴったりの器を選んで生けて、部屋で楽しめます。



雑貨店で一目惚れした
青いジョウロにピンクの秋明菊を
入れています。



香林坊・SKLOでみつけた
アンティークのガラス瓶に藤の花。
ドイツのビール瓶だったとか。



数年前に道端から採ってきて
プランターに植えたスミレ。
中田雄一さんの黒い器に生けた。



駐車場の脇の舗装の隙間に
咲いていたスミレを
素焼きのエッグスタンドに。

庭を作った人：多田けい子 (@tea_keiko)

■ モジャモジャSHOP



長町の〈ひらみぼん〉。大正時代に建てられた元鉄工所の町家に絡まる蔦と植木のグリーン。



安江町・〈花のアトリエこすもす〉とお隣の蒸しパン店〈WATANABEYA!〉。蔦仲間。



モジャモジャ進行中。駅西新町の〈HUG mitten WORKS〉はベーグルと焼菓子の店。周囲の田畑には鳥や虫も集う。

まちなかの緑と用水



■ 路上園芸

ひがし東茶屋街そばの観音町で歩く人々の目を楽しませてくれる植木鉢たち。



■ 都会のワイルド

香林坊のミスタードーナツ前の柵にノウゼンカズラが鬱蒼と茂り、夏には朱色の花を咲かせる。まちなかの野生。

■ 隠れ庭園

尾山町の喫茶店〈プラザ樹〉は、前田家お付きの医師の家があった場所で、大きな松の木や樹齢数百年のドウダンツツジ、珍しい灯籠もある細長い庭が残る。外からはあまり見えないのでひとたび扉を開けるとびっくりの庭園。

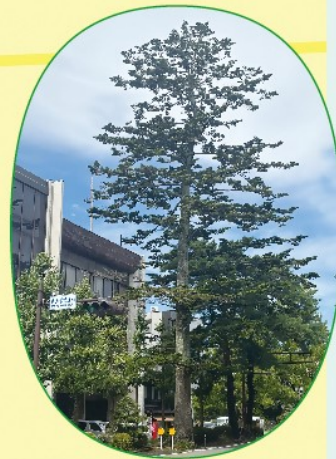


■ 不揃いの生垣

手町にある大手堀の生垣。丸と四角が混在しているのはなんだろうか。剪定に謎のこだわりが……!?

■ 粹な計らい

広坂の本多通り沿い、旧制金沢一中跡地にモミの木1本と赤松の木が2本残るため、そこだけ4車線の道路が3車線になっている。不便よりも歴史を優先する金沢の道。寺町の大通り沿い、松月寺のサクラは境内から土塀を越えて歩道に張り出している。後で生まれた人がよける仕組み。



■ 用水の取水口

用水に面した家の庭園には、用水の水を引き込んで池や曲水を作っている場合も。石垣にはさまざまな形状の取水口が見られます。